

番号	氏名	抱負
041	上田 克彦	私は平成19年から学会理事を拝命し学術交流委員長、英語論文誌担当理事、中国・四国部会担当理事、第69回総会学術大会実行委員長、第1回ICRST実行委員長、画像分科会委員の業務を通じて学会運営に関係させて頂きました。現在学術交流委員長として、国際交流事業を運営していますが、今後の国際事業については、会員皆様の優れた研究成果を海外に広く周知できるような企画を検討できるようにしたいと考えています。
042	上田 伸一	現在中部部会の総務理事、治療研究会世話人として学会業務に携わっております。これまで同様会員の皆様に有益な情報を届け、会員のスキルアップに即役立つセミナー開催等を心がけていきたいと思ひます。学会の最新情報を得るために代議員として立候補しますのでよろしくお願ひします。
043	上前 峰子	臨床における放射線技術のアウトカムは、患者満足度につける。機器の開発・進歩が目覚ましい中で、装置の機能評価に終わらず、高精度・高機能の特性を生かした検査技術と治療技術に発展させなければならない。学術団体の使命は情報の発信と社会及び会員の実態を把握し、ニーズを分析した活動が求められる。特に女性の潜在した能力を発揮できる職場や学会での活動が拡充され発展して欲しいと願っており、その一助を担いたい。
044	氏原 健吾	九州部会から放射線技術学の進歩発展につながる多くの事業を発信・推進して、公益法人としての具体的で明確な事業を実践する、お役に立ちたいと考えて代議員に立候補しましたので、ご支援をよろしくお願ひします。
045	臼井 淳之	微力ながら学会の発展に寄与したいと思ひます。
046	内田 幸司	地方会員の声を代弁できる代議員を目指します。また、後輩の育成にも力を入れ、その声も学会運営に反映できるように努めます。具体的には、本部主催のセミナーや講演会を積極的に地方に誘致したいと考えています。
047	内山 良一	
048	江口 陽一	先輩たちの築いてきた本学会の良さを維持し、さらなる発展に貢献したい。
049	江島 光弘	全ての放射線技術領域で現在必要な知識・技術を明確に提示できること、将来必要と成る知識・技術をよりの確に把握できること、その内容をより多くの会員が修学できるようにすることが、放射線技術学会に課せられた大きな役割だと改めて考えています。この役割を果たすための事業運営に協力させて戴きたいと思ひています。
050	遠藤 登喜子	